シンポジウム２（臨床医学） 8:30-10:30

座長：菊池　健次郎　北海道循環器病院
山崎　力　東京大学 臨床疫学システム講座医療疫学システム

「大規模臨床試験を評価する－日本発の質の高いエビデンス創出に向けて」

S2-1 本邦の動脈硬化性疾患臨床試験における一次エンドポイント設定と判定のあり方
—検出力維持への葛藤
植田　真一郎 (Ueda, Shinichiro)　琉球大学 大学院医学研究科 臨床薬理学分野

S2-2 データ解析法と解釈のあり方—願望への葛藤とバイオスタティスティックス
島田　和幸 (Shimada, Kazuyuki)　自治医科大学 循環器内科

S2-3 日本における循環器臨床試験のあり方－二重盲検法とPROBE法の狭間で
興梠　貴英 (Kohro, Takahide)　東京大学 医学部附属病院 健康医科学創造講座

S2-4 大規模臨床試験を評価する—日本における臨床試験を成功させるための方策企業主導/
非企業主導型研究とデータマネージメント・広報・報道のあり方
桑島　巌 (Kuwajima, Iwao)　東京都健康長寿医療センター

特別講演1 10:45-11:45

座長：上島　弘嗣　滋賀医科大学 生活習慣病予防センター

SL1 Prediction of Cardiovascular Disease in 2009
Peter W. F. Wilson　Emory University, Atlanta, GA, USA

ランチョンセミナー 2-1： 12:00-13:00

座長：松原　弘明　京都府立医科大学循環器内科

LS-2-1 Combined benefits from blood pressure and lipid lowering – new evidence from ASCOT
Peter Sever　International Centre for Circulatory Health, Imperial College London

共催：ファイザー株式会社

会長講演 14:30-15:30

座長：荻原　俊男　大阪府立急性期・総合医療センター

ChL 疫学的エビデンスをどう作りどう理解するか
上島　弘嗣（Ueshima, Hirotsugu）　滋賀医科大学 生活習慣病予防センター

特別講演2 15:30-16:30

座長：上島　弘嗣　滋賀医科大学 生活習慣病予防センター

SL2 日本人の死生観
梅原　猛（Umehara, Takeshi）　哲学者

高得点演題2：基礎　8:30-9:45

座長：松原　弘明　京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器内科学講座
岡村　富夫　滋賀医科大学 薬理学講座

PL2-6　劇症型脳卒中発症モデルラットの作成とポジショナルクローニング

加藤　規弘 (Kato, Norihiro)、梁　一強、ザイディ　アリ、竹内　史比古
国立国際医療センター研究所 遺伝子診断治療開発研究部

PL2-7　ポドサイトにおいてアルドステロンはROSを介してTRPC6-Ca^{2+}シグナルを増強する

高良　洋平 (Takara, Yohei)、一色　政志、武藤　明子、西本　光宏、安東　克之、藤田　敏郎
東京大学医学部付属病院 腎臓・内分泌内科

PL2-8　新規肥満モデルSQSTM1/A170/p62遺伝子欠損マウスはnon-dipper型血圧上昇を示す

酒井　俊 (Sakai, Satoshi)[1]、蕨　栄治[2]、稲葉　博子[2]、原田　春美[2]、柳川　徹[2]、鈴木　栄子[3]、友尾　孝[3]、青沼　和隆[1]、石井　哲郎[2]
[1] 筑波大学 人間総合科学研究科 循環器内科、[2] 筑波大学人間総合科学研究科、
[3] ノバルティスファーマ株式会社開発本部

PL2-9　高血圧自然発症ラットの睡眠時血圧変動の評価とKAT-1遺伝子の役割

小松　一俊 (Komatsu, Kazutoshi)[1]、伊藤　哲[1]、飯塚　陽子[2]、後藤田　貴也[3]、矢島　愛治[1]、藤田　敏郎[4]
[1] 日本大学 医学部 循環器内科、[2] 東京大学 糖尿病代謝内科、[3] 東京大学大学院 臨床分子疫学、
[4] 東京大学 腎臓内分泌内科

PL2-10　心筋細胞におけるATRAP(AT1受容体結合性蛋白)発現量の増加はアンジオテンシンIIにより惹起される心肥大応答を完全に抑制する

前田　晃延 (Maeda, Akinobu)[1]、田村　功一[1]、涌井　広道[1]、出島　徹[1]、増田　真一朗[1]、重永　豊一郎[1]、東　公一[1]、松田　みゆき[1]、矢花　眞知子[1]、戸谷　義幸[1]、南澤　享[2]、梅村　敏[1]
[1] 横浜市立大学大学院 医学研究科 病態制御内科学、[2] 早稲田大学先進理工学部生命医科学科

ランチョンセミナー 2-2：　12:00-13:00

座長：楽木　宏実　大阪大学大学院 医学系研究科 老年・腎臓内科学

LS-2-2　血圧管理における家庭血圧および中心血圧評価の重要性 ～ J-HOME AI研究～

今井　潤 (Imai, Yutaka)　東北大学大学院 薬学・医学系研究科 臨床薬学分野

共催：万有製薬株式会社

一般口演（疫学）1：疫学（1） 8:30-9:30

座長：磯　博康　大阪大学大学院医学系研究科 社会環境医学講座 公衆衛生学
大久保　孝義　東北大学大学院薬学研究科 医薬開発構想寄附講座

EO1-1　JSH2009ガイドラインのリスク層別化の地域一般住民における心血管イベント予測能に関する検討-端野・壮瞥町研究より-

大西　浩文 (Ohnishi, Hirofumi)[1]、斎藤　重幸[1]、赤坂　憲[1]、三俣　兼人[1]、千葉　瑞恵[1]、古堅　真[1]、古川　哲章[1]、森　満[2]、島本　和明[1]

[1] 札幌医科大学医学部内科学第二講座、[2] 札幌医科大学医学部公衆衛生学講座

EO1-2　地域住民における仮面高血圧、白衣高血圧の頻度と、臓器障害との関連：久山町研究

福原　正代 (Fukuhara, Masayo)[1]、米本　孝二[1]、秦　淳[1]、土井　康文[2]、谷崎　弓裕[1]、松村　潔[2]、飯田　三雄[2]、清原　裕[1]

[1] 九州大学 大学院 医学研究院 環境医学、[2] 九州大学 大学院 医学研究院 病態機能内科

EO1-3　小児期における家庭血圧と出生体重との関連:出生コホート調査

林　克剛 (Hayashi, Katsuhisa)[1]、浅山　敬[2]、大久保　孝義[2]、保坂　実樹[2]、今井　潤[1]、佐藤　洋[3]

[1] 東北大学 大学院薬学研究科 臨床薬学分野、[2] 東北大学 大学院薬学研究科 医薬開発構想寄附講座、
[3] 東北大学 大学院医学系研究科 環境保健医学分野

EO1-4　脳卒中発症に対する経時的に測定された血圧の影響評価

篠崎　智大 (Shinozaki, Tomohiro)[1]、大橋　靖雄[1]、上島　弘嗣[2]、日本動脈硬化縦断研究　(JALS)

[1] 東京大学 医学系研究科 公共健康医学専攻 生物統計学分野、[2] 滋賀医科大学 生活習慣病予防センター

EO1-5　n-6系多価不飽和脂肪酸の血清濃度と血圧との関連：日米韓共同研究ERA-JUMP

長澤　晋哉 (Nagasawa, Shin-ya)[1,2]、三浦　克之[2]、チョル　シン[3]、門脇　崇[2]、ナカタ　カツミ[4]、モトヤマ　ケニス[4]、オタケ　テルオ[4]、チョー　ジナ[3,4]、エバンス　ロバート[4]、クーラー　ルイス[4]、カーブ　デイビッド[5]、上島　弘嗣[1,2]、関川　暁[4]

[1] 滋賀医科大学 生活習慣病予防センター、[2] 滋賀医科大学 公衆衛生学部門、[3] 高麗大学、[4] ピッツバーグ大学、
[5] ハワイ大学

EO1-6　食塩摂取量と血圧の関連： NIPPON DATA80 国民栄養調査統合データセットより

奥田　奈賀子 (Okuda, Nagako)[1]、三浦　克之[1]、Turin, Tanvir C[1]、中川　秀昭[2]、中村　幸志[2]、由田　克士[3]、松村　康弘[4]、岡山　明[5]、上島　弘嗣[1]

[1] 滋賀医科大学 公衆衛生学、[2] 金沢医科大学 健康増進予防医学、
[3] 国立健康・栄養研究所 国民健康・栄養プロジェクト、[4] 桐生大学 医療保健学部、
[5]（財）結核予防会 第一健康相談所

一般口演（疫学）2：疫学（2） 9:40-10:30

座長：朽久保　修　横浜市立大学大学院医学研究科 情報システム予防医学
清原　裕　九州大学大学院医学研究院 社会環境医学講座環境医学分野

EO2-7　夜勤業務と血圧上昇、メタボリック症候群の関連

村谷　博美 (Muratani, Hiromi)[1]、笹栗　俊之[2]、土橋　卓也[3]、上園　慶子[4]

[1] 九州産業大学 健康・スポーツ科学センター、[2] 九州大学大学院 医学研究院 臨床薬理学、
[3] 国立病院機構 九州医療センター 高血圧内科、[4] 九州大学 健康科学センター

EO2-8　我が国における女性のメタボリックシンドロームの腹囲基準を再評価する ～一般検診における検討～

滝沢　英毅 (Takizawa, Hideki)[1]、浦　信行[2]、赤坂　憲[5]、塙　なぎさ[4]、山地　泉[1]、佐々木　晴樹[3]、田中　繁道[3]

[1] 手稲渓仁会病院 腎臓内科、[2] 手稲渓仁会病院 総合内科、[3] 手稲渓仁会病院 循環器内科、[4] 渓仁会円山クリニック、
[5] 札幌医科大学 第二内科

EO2-9　女性のメタボリックシンドロームが心血管疾患発症に及ぼす影響の検討：端野・壮瞥町研究

赤坂　憲 (Akasaka, Hiroshi)、斎藤　重幸、大西　浩文、三俣　兼人、古堅　真、千葉　瑞恵、古川　哲章、島本　和明

札幌医科大学 医学部 内科学第二講座

EO2-10　家庭血圧と頸動脈病変進展との関連：大迫研究

原　梓 (Hara, Azusa)[1]、大久保　孝義[1,2]、菊谷　昌浩[1]、橋本　貴尚[1]、中下　愛実[2]、寺田　志保[1]、目時　弘仁[1,4]、井上　隆輔[5]、浅山　敬[2]、菅野　厚博[1]、廣瀬　卓男[2]、戸恒　和人[1]、星　晴久[6]、佐藤　洋[3]、今井　潤[1]
[1] 東北大学大学院臨床薬学、[2] 東北大学大学院医薬開発構想寄附講座、[3] 東北大学大学院環境保健医学、[4] 東北大学大学院遺伝病学、[5] 東北大学病院メディカル IT センター、[6] 大迫地域医療センター

EO2-11　高齢者高血圧患者における早朝家庭血圧管理と降圧治療: J-HOME-Elderly研究

小原　拓 (Obara, Taku)[1,2]、拓　芝宮[1]、新木　貴大[1]、目時　弘仁[1,3]、浅山　敬[4]、井上　隆輔[5]、菊谷　昌浩[1]、大久保　孝義[1,4]、眞野　成康[2]、今井　潤[1]、J-HOME-Elderly 研究グループ[6]
[1] 東北大学大学院医学・薬学系研究科臨床薬学、[2] 東北大学病院薬剤部、[3] 東北大学大学院遺伝病学、[4] 東北大学大学院医薬開発構想寄附講座、[5] 東北大学病院メディカル IT センター、[6]J-HOME-Elderly 研究グループ

一般口演（臨床）５：血圧心拍測定　10:40-11:30

座長：山科　章　東京医科大学 内科学第二講座
木村　健二郎　聖マリアンナ医科大学大学院 腎臓・高血圧内科

CO5-24　未治療高血圧患者における早朝と就寝前の家庭血圧差と左室リモデリングとの関連

松井　芳夫 (Matsui, Yoshio)、江口　和男、柴崎　誠一、志水　元洋、石川　譲治、島田　和幸、苅尾　七臣
自治医科大学 医学部 循環器内科

CO5-25　降圧治療中の外来高血圧患者におけるJSH2009ガイドライン基準により評価した外来および家庭血圧の降圧目標到達率

堀尾　武史 (Horio, Takeshi)[1]、岩嶋　義雄[1]、吉原　史樹[1]、中村　敏子[1]、徳留　健[2]、神出　計[3]、河野　雄平[1]
[1] 国立循環器病センター 高血圧腎臓内科、[2] 国立循環器病センター研究所、[3] 大阪大学 老年・腎臓内科

CO5-26　糖尿病合併高血圧では早朝血圧に加えて就寝前血圧のコントロールが重要である ―JMS-1研究サブ解析―

江口　和男 (Eguchi, Kazuo)[1]、松井　芳夫[1]、柴崎　誠一[1]、石川　譲治[1]、星出　聡[1]、石川　鎮清[2]、甲谷　友幸[1]、島田　和幸[1]、苅尾　七臣[1]
[1] 自治医科大学 循環器内科、[2] 自治医科大学地域医療学教室

CO5-27　蛋白尿の存在は睡眠中の間歇的低酸素血症による血圧上昇を増悪させる

嶋崎　美奈子 (Shimazaki, Minako)、安田　隆、永田　晃平、白井　小百合、柴垣　有吾、佐藤　武夫、木村　健二郎
聖マリアンナ医科大学 腎臓・高血圧内科

CO5-28　治療中高齢者高血圧患者における身体機能および認知機能の低下は夜間血圧高値と関連する

矢野　裕一朗 (Yano, Yuichiro)[1]、井ノ口　崇[2]、金丸　吉昌[3]、星出　聡[1]、島田　和幸[1]、苅尾　七臣[1]
[1] 自治医科大学循環器内科、[2] 県立宮崎病院整形外科、[3] 美郷町西郷病院

CO5-29　血圧測定値に衣服の厚さが及ぼす影響

山崎　文靖 (Yamasaki, Fumiyasu)[1]、宮野　伊知郎[2]、小澤　利男[2]、西永　正典[2]、土居　義典[2]
[1] 高知大学 医学部 検査部、[2] 高知大学 医学部 老年病科・循環器科

ランチョンセミナー 2-3：　12:00-13:00

座長：島本　和明　札幌医科大学医学部 内科学第二講座

LS-2-3　エビデンスから考える 糖尿病合併高血圧の降圧治療戦略

山崎　力 (Yamazaki, Tsutomu)　東京大学大学院医学系研究科 臨床疫学システム講座

共催：大日本住友製薬株式会社

教育セッション（基礎1） 8:30-9:00

座長：柏木　厚典　滋賀医科大学附属病院

EB-1　メタボリックシンドロームと高血圧－Adipotoxicityの概念と分子基盤－

中尾　一和 (Nakao, Kazuwa)
京都大学大学院 医学研究科 探索医療センター EBM 研究センター 内分泌代謝内科

教育セッション（基礎2） 9:15-9:45

座長：中尾　一和　京都大学大学院医学研究科 探索医療センター EBM 研究センター 内分泌代謝内科

EB-2　生理活性ペプチドのトランスレーショナルリサーチ

寒川　賢治 (Kangawa, Kenji)　国立循環器病センター 研究所

教育セッション（基礎3） 10:00-10:30

座長：岡村　富夫　滋賀医科大学　薬理学講座

EB-3　新しい視点からとらえた薬理学的研究の試み：腎臓とレニン・アンジオテンシン系の研究を例にとって

西山　成 (Nishiyama, Akira)　香川大学 医学部 薬理学

一般口演（基礎）４：メタボリックシンドローム等 10:40-11:30

座長：三木　哲郎　愛媛大学大学院医学系研究科 加齢制御内科学
岩井　將　愛媛大学大学院医学系研究科 分子心血管生物・薬理学

BO4-18　酸化ストレス感受性受容体APJを介したangiotensin IIの動脈硬化病変形成作用

吉田　伸一郎 (Yoshida, Shin-ichiro)[1]、橋本　達夫[1]、安崎　弘晃[1]、木原　実[1]、野村　幸一郎[1]、今井　のぞみ[1]、石田　純治[2]、一原　直昭[1]、小林　雄祐[1]、田村　功一[1]、石上　友章[1]、平和　伸仁[1,3]、戸谷　義幸[1]、深水　昭吉[2]、梅村　敏[1]

[1] 横浜市立大学 医学部 循環器・腎臓内科学、[2] 筑波大学 先端学際領域研究センター、[3] 横浜市立大学附属市民総合医療センター

BO4-19　糖尿病による認知機能と虚血性脳障害における性差～ 2型糖尿病モデルマウスを用いた検討～

坂田　暁子 (Sakata, Akiko)[1,2]、茂木　正樹[2]、岩波　純[2]、佃　架奈[2]、関　莉娟[2]、景　斐[2]、岩井　將[2]、伊藤　昌春[1]、堀内　正嗣[2]

[1] 愛媛大学 大学院 医学系研究科 生殖病態外科学、[2] 愛媛大学大学院医学系研究科 分子心血管生物・薬理学

BO4-20　アルドステロン／ Rho ／ Rhoキナーゼ経路のメタボリックシンドローム（Mets）腎症における意義

徳山　博文 (Tokuyama, Hirobumi)、脇野　修、原　義和、鷲田　直樹、長谷川　一宏、水口　斉、末安　慶子、吉岡　恭子、本間　康一郎、立松　覚、林　晃一、伊藤　裕

慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝科

BO4-21　ApoE欠損マウスの腎障害におけるインターロイキン6受容体阻害の効果

華山　真理 (Hanayama, Mari)[1]、楽木　宏実[1]、美馬　亨[2]、安達　康夫[2]、勝谷　友宏[1]、小原　正治[3]、青笹　克之[3]、荻原　俊男[4]、西本　憲弘[2]

[1] 大阪大学 医学部 老年腎臓内科、[2] 和歌山県立医科大学 免疫制御学講座、[3] 大阪大学 医学部 病態病理学講座、[4] 大阪府立急性期・総合医療センター

BO4-22　Rho/Rho-kinase経路の肥満発症における意義－脂肪細胞肥大化に伴う伸展刺激の役割－

原　義和 (Hara, Yoshikazu)[1]、脇野　修[1]、徳山　博文[1]、立松　覚[1]、吉岡　恭子[1]、本間　康一郎[1]、長谷川　一宏[1]、水口　斉[1]、鷲田　直樹[1]、末安　慶子[1]、林　晃一[1]、伊藤　裕[1]、斉藤　麻希[2]、田辺　由幸[2]、中山　貢一[2]

[1] 慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科、[2] 岩手医科大学 分子細胞薬理学講座

ランチョンセミナー 2-4： 12:00-13:00

座長：檜垣　實男　愛媛大学大学院医学系研究科 病態情報内科学

LS-2-4　アルドステロンとCa拮抗薬

吉村　道博 (Yoshimura, Michihiro)　東京慈恵会医科大学 循環器内科

共催：持田製薬株式会社／味の素株式会社

第５会場

ランチョンセミナー 2-5： 12:00-13:00

座長：今泉　勉　久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門

LS-2-5　心血管疾患発症予防を考慮した降圧療法
－ABPMの重要性とARBのpleiotropic effect －

鈴木　洋 (Suzuki, Hiroshi)　昭和大学藤が丘病院 循環器内科

共催：塩野義製薬株式会社

第６会場

Room 6

ランチョンセミナー 2-6： 12:00-13:00

座長：倉林　正彦　群馬大学大学院医学系研究科 臓器病態内科学

LS-2-6　睡眠と高血圧　―JSH2009・新しい心血管リスクとしての視点―

苅尾　七臣 (Kario, Kazuomi)　自治医科大学内科学講座 循環器内科学部門

共催：サノフィ・アベンティス株式会社／アステラス製薬株式会社

一般ポスター 22（基礎）P22：成因・病態　遺伝子　16:30-16:55

座長：小原　克彦　愛媛大学大学院医学系研究科 加齢制御内科学

P22-122　高血圧関連遺伝子多型とARBs単剤の降圧効果との関連

米田　実 (Yoneda, Minoru)[1]、谷田部　淳一[1]、谷田部　緑[2]、横川　博英[3]、渡辺　毅[4]、眞田　寛啓[1]

[1]JA 福島厚生連 ヘルスサイエンスリサーチ、[2]福島県立医科大学薬理学講座、
[3]福島県立医科大学公衆衛生学講座、[4]福島県立医科大学内科学第３講座

P22-123　アンジオテンシン遮断薬responder決定因子としてのレニンアンジオテンシン系遺伝子

此下　忠志 (Konoshita, Tadashi)[1]、加藤　規弘[2]、水野　真一[1]、本村　誠[1]、青山　千賀子[1]、木村　朋子[1]、藤井　美紀[1]、牧野　耕和[1]、荒川　健一郎[1]、若原　成行[1]、居軒　功[1]、Fuchs Sebastien[3]、Pinet Florence[4]、宮森　勇[1]

[1]福井大学 医学部 病態制御医学講座・内科学（3）、[2]国立国際医療センター研究所 遺伝子診断治療開発研究部、
[3]Department of Biomedical Sciences, Cedars-Sinai Medical Center, Los Angeles, CA, USA、[4]INSERM UMR744, Institut Pasteur de Lille, France

P22-124　Fasプロモーター領域遺伝子多型と心筋梗塞発症・高血圧罹患との関連

花咲　博子 (Hanasaki, Hiroko)[1]、竹村　幸宏[1]、福尾　恵介[2]、大石　充[1]、大西　美幸[1]、安田　修[1]、勝谷　友宏[1]、荻原　俊男[3]、樂木　宏実[1]

[1]大阪大学 大学院医学系研究科 老年・腎臓内科学、[2]武庫川女子大学 生活環境学部 食物栄養学科、
[3]大阪府立急性期・総合医療センター

P22-125　細胞外スーパーオキシドジスムターゼ遺伝子と本態性高血圧症との関連解析

中山　智祥 (Nakayama, Tomohiro)[1]、永沼　高廣[2]、佐藤　直之[2]、付　真彦[2]、伊澤　則子[2]、菱木　三佳乃[2]、相馬　正義[3]、山口　舞[2]

[1]日本大学 医学部 病態病理学系臨床検査医学分野、[2]日本大学 医学部 先端医学系分子診断学分野、
[3]日本大学医学部内科学系総合内科学分野

P22-126　アドレノメデュリン2/インターメジン遺伝子多型と無症候性脳血管障害との関連の検討：大迫研究

廣瀬　卓男 (Hirose, Takuo)[1]、戸恒　和人[2]、川村　卓也[2]、目時　弘仁[2,3]、星川　美奈子[2]、原　梓[2]、小原　拓[2,4]、浅山　敬[1]、菊谷　昌浩[2]、近藤　健男[5]、大久保　孝義[1]、出江　紳一[5]、高橋　和広[6]、今井　潤[2]

[1]東北大学 大学院薬学研究科 医薬開発構想寄附講座、[2]東北大学 大学院薬学研究科 臨床薬学分野、
[3]東北大学 大学院医学系研究科 遺伝病学分野、[4]東北大学病院 薬剤部、
[5]東北大学 大学院医学系研究科 肢体不自由学分野、[6]東北大学 大学院医学系研究科 内分泌応用医科学分野

一般ポスター 23（基礎）P23：成因・病態　遺伝子・他　17:00-17:25

座長：平田　結喜緒　東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 分子内分泌内科学（内分泌・代謝内科）

P23-127　ラット胸大動脈リング3次元培養系を用いた血管芽細胞の局在と血管構成細胞との相互作用についての検討

山元　智衣 (Yamamoto, Chii)[1]、松本　太郎[2]、福田　昇[1,3]

[1]日本大学大学院 総合科学研究科 生命科学、[2]日本大学 医学部 先端医学系 細胞再生・移植医学、
[3]日本大学 医学部 内科学系 腎臓高血圧内分泌内科学分野

P23-128　慢性腎臓病（CKD）のリスクとしての腎性低尿酸血症とURAT1遺伝子変異

田原　康玄 (Tabara, Yasuharu)[1,4]、川本　龍一[2]、三木　哲郎[3,4]、小原　克彦[3,4]

[1]愛媛大学 大学院医学系研究科 統合医科学、[2]愛媛大学 大学院医学系研究科 地域医療学、
[3]愛媛大学 大学院医学系研究科 加齢制御内科学、[4]愛媛大学 プロテオ医学研究センター

P23-129　インスリン様成長因子1（IGF1）遺伝子多型と心筋梗塞との関連解析

青井　則子 (Aoi, Noriko)[1]、中山　智祥[2,4]、相馬　正義[3]、菱木　三佳乃[4]、小菅　琴子[3]、佐藤　直之[2]、泉　洋一[4]、松本　紘一[4]

[1]日本大学 医学部 先端医学系　探索医療・ゲノム疫学分野 、[2]日本大学 医学部 病態病理学系 臨床検査医学分野、
[3]日本大学 医学部 内科学系 総合内科学分野、[4]日本大学 医学部 内科学系 腎臓高血圧内分泌内科学分野

P23-130　降圧薬感受性遺伝子多型同定のための前向き多施設臨床試験（GEANE研究）－候補遺伝子アプローチによる検討

松本　幸子 (Matsumoto, Sachiko)[1,2]、神出　計[1,3]、宮田　敏行[1]、花田　裕典[1]、友池　仁暢[2]、河野　雄平[2]、GEANE 研究グループ

[1]国立循環器病センター 研究所、[2]国立循環器病センター 内科高血圧腎臓部門、[3]大阪大学 医学系研究科 老年・腎臓内科

P23-131　FTO遺伝子多型とインスリン抵抗性との関連性―端野・壮瞥町研究

島岡　泉 (Shimaoka, Izumi)[1]、神出　計[1]、勝谷　友宏[2]、小黒　亮輔[1]、アダ　コングレイン[1]、杉本　研[1]、赤坂　憲[3]、斎藤　重幸[3]、大石　充[1]、島本　和明[3]、楽木　宏実[1]

[1]大阪大学 大学院 医学系研究科 老年腎臓内科学 、[2]大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学、
[3]札幌医科大学 第二内科学

一般ポスター 24（予防）P24：疫学2　16:30-16:55

座長：村上　義孝　滋賀医科大学 社会医学講座医療統計学部門

P24-132　疫学的に見た高尿酸血症の重要性　－田主丸住民検診での検討－

南條　泰輝 (Nanjo, Yasuki)、足達　寿、平井　祐治、榎本　美佳、深水　亜子、熊谷　俊一、佐藤　晃、大塚　麻樹、古木　久美子、熊谷　英太、江崎　英司、村山　恭子、今泉　勉

久留米大学 医学部 内科学講座 心臓血管内科部門

P24-133　地域一般住民における食塩感受性と脈拍との関連：端野・壮瞥町研究

三俣　兼人 (Mitsumata, Kaneto)、斉藤　重幸、大西　浩文、赤坂　憲、古堅　真、古川　哲明、千葉　瑞恵、島本　和明

札幌医科大学 第二内科

P24-134　至適血圧アフリカ・タンザニア黒人青年男子における食塩摂取とACE多型

池田　克巳 (Ikeda, Katsumi)[1]、安井　菜穂美[1]、根岸　裕子[2]、三木　知博[1]、奈良　安雄[3]、家森　幸男[1]

[1] 武庫川女子大学 薬学部、[2] 奈良女子大学大学院人間文化研究科、[3] 就実大学 薬学部

P24-135　サイアザイド感受性Na-Cl共輸送体（SLC12A3）の遺伝子変異と推算GFRに関する検討

蔦谷　昭司 (Tsutaya, Shoji)[1]、杉本　一博[2]、保嶋　実[2]

[1] 弘前大学 医学部 附属病院 検査部、[2] 弘前大学 大学院 医学研究科 臨床検査医学

P24-136　ELMO1およびELMO2遺伝子多型と血圧に関する検討

蔦谷　昭司 (Tsutaya, Shoji)[1]、杉本　一博[2]、保嶋　実[2]

[1] 弘前大学 医学部 附属病院 検査部、[2] 弘前大学 大学院 医学研究科 臨床検査医学

一般ポスター 25（予防）P25：疫学・ライフスタイル　17:00-17:30

座長：阿部　功　社団法人日本海員掖済会門司病院 内科

P25-137　沖縄野菜を多く含む食事介入は沖縄県在住の健康米国人において微量アルブミン尿を減少させる—チャンプルースタディー 3の検討より—

仲本　みのり (Nakamoto, Minori)[1,2]、大屋　祐輔[1]、東上里　康司[1,2]、等々力　英美[3]

[1] 琉球大学医学部循環系総合内科学、[2] 琉球大学医学部付属病院検査部、[3] 琉球大学医学部

P25-138　健常者における血流依存性血管拡張反応（FMD）の規定因子に関する検討

曽我　潤子 (Soga, Junko)[1]、東　幸仁[2]、板良敷　朝将[3]、杉浦　正毅[3]、加藤　仁志[4]、日高　貴之[1]、藤井　雄一[1]、出井　尚美[1]、端　孝樹[1]、藤村　憲崇[1]、西岡　健司[1]、寺川　宏樹[1]、吉栖　正雄[2]、木原　康樹[1]

[1] 広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 循環器内科学、[2] 広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 心臓血管生理医学、[3] サラヤ株式会社、[4] 天王洲クリニック

P25-139　健常者と心血管病患者における喫煙と血管内皮前駆細胞の関連

曽我　潤子 (Soga, Junko)[1]、東　幸仁[2]、西岡　健司[1]、日高　貴之[1]、藤井　雄一[1]、端　孝樹[1]、出井　尚美[1]、藤村　憲崇[1]、寺川　宏樹[1]、吉栖　正雄[2]、木原　康樹[1]

[1] 広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 循環器内科学、[2] 広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 心臓血管生理医学

P25-140　先進予防型健康社会創成仙台クラスターにおける在宅高血圧フォロー

山家　智之 (Yambe, Tomoyuki)[1]、金野　敏[1]、片平　美明[2]、大沢　上[3]、八木　哲夫[4]、秋野　能久[5]

[1] 東北大学 加齢医学研究所、[2] 東北厚生年金病院循環器センター、[3] 宮城県立循環器呼吸器病センター、[4] 仙台市立病院循環器科、[5] 宮城社会保険病院循環器科

P25-141　人間ドックにおける自動家庭血圧測定サービスで検出する仮面高血圧・白衣高血圧とメタボリックシンドロームに関する横断的研究

相澤　健一 (Aizawa, Kenichi)[1]、鈴木　亨[1]、興梠　貴英[2]、大池　裕美子[3]、瀬戸　元子[3]、鈴木　一詩[3]、鈴木　信也[4]、永井　良三[4]、山崎　力[5]

[1] 東京大学大学院医学系研究科ユビキタス予防医学講座、[2] 東京大学大学院医学系研究科 22 世紀医療センター健康医科学創造講座、[3] 東京大学医学部附属病院検診部、[4] 東京大学医学部附属病院循環器内科、[5] 東京大学大学院医学系研究科臨床疫学システム講座

P25-142　地域住民を対象にした家庭血圧測定による高血圧スクリーニングと高血圧治療の検討／家庭血圧1回測定と複数回測定の比較

品川　達夫 (Shinagawa, Tatsuo)[1]、鈴木　伸[2]、田中　敏己[3]、大住元　秀明[4]、神田　宗武[1]

[1] 日本赤十字社長崎原爆病院 循環器科、[2] 長崎市立市民病院 循環器科、[3] 平戸市立生月病院、[4] 国民健康保険小値賀診療所 小値賀町健康管理センター

一般ポスター 26（基礎）P26：成因・病態　RAA系　3　16:30-17:00

座長：石上　友章　横浜市立大学医学部 循環器内科

P26-143　高血圧心における左室内腔形態と左室肥大・拡張能との関連、また降圧治療に伴う左室内その変化と血漿BNP・アルドステロン値の関係

江口　明世 (Eguchi, Akiyo)、合田　亜希子、中坊　亜由美、中尾　伸二、辻野　健、大塚　美里、松本　実佳、吉田　千佳子、川端　正明、増山　理
兵庫医科大学病院 循環器内科

P26-144　低塩刺激およびRA系阻害薬投与に伴う血中と組織中のプロアンジオテンシン-12（proang-12）やレニン・アンジオテンシン系（RA系）因子の変化

永田　さやか (Nagata, Sayaka)[1]、加藤　丈司[2]、桑迫　健二[2]、北村　和雄[1]
[1]宮崎大学 医学部 内科学講座 循環体液制御学分野、[2]宮崎大学 フロンティア科学実験総合センター 生理活性物質探索分野

P26-145　Dahl食塩感受性ラットに対するAT1受容体拮抗薬の一過性投与による長期的降圧効果について

出島　徹 (Dejima, Toru)、田村　功一、重永　豊一郎、涌井　広道、増田　真一朗、東　公一、前田　晃延、金岡　知彦、大澤　正人、松田　みゆき、菅野　晃靖、石上　友章、内野　和顕、木村　一雄、梅村　敏
横浜市立大学病態制御内科学

P26-146　2型糖尿病ラットにおけるARBオルメサルタンの早期投与はアルブミン尿発症を予防する

祖父江　理 (Sofue, Tadashi)[1]、西山　成[2]、西岡　聡[1]、西島　陽子[1]、海部　久美子[1]、原　大雅[1]、中野　大介[2]、人見　浩史[2]、河内　裕[3]、小堀　浩幸[4]、清元　秀泰[1]、河野　雅和[1]
[1]香川大学 医学部 循環器･腎臓･脳卒中内科、[2]香川大学薬理学、[3]新潟大学大学院医歯学総合研究科附属腎研究施設分子病態学、[4]Tulane 大学生理学高血圧腎臓 COE

P26-147　アルドステロンはp21を介した経路で内皮細胞の細胞老化を誘導する

油谷　伊佐央 (Aburadani, Isao)、薄井　荘一郎、野村　あやの、岡島　正樹、高村　雅之、金子　周一
金沢大学附属病院 恒常性制御学

P26-148　In vitro糖尿病性腎症モデルにおけるAngiotensin1-7の腎保護作用

塩田　敦 (Shiota, Atsushi)、大石　充、山本　浩一、高木　崇、多田羅　雄之、岩本　義広、武田　昌生、加藤　のぞみ、楽木　宏実
大阪大学 医学部 老年・腎臓内科学

一般ポスター 27（基礎）P27：成因・病態　RAA系　4　17:00-17:30

座長：林　晃一　慶應義塾大学医学部 内科学 腎臓内分泌代謝内科

P27-149　プロレニンの血管平滑筋細胞における細胞内情報伝達系の解明

人見　浩史 (Hitomi, Hirofumi)[1]、劉　鋼[1]、中野　大介[1]、細見　直永[2]、清元　秀泰[2]、木村　正司[1]、市原　淳弘[3]、伊藤　裕[3]、西山　成[1]
[1]香川大学 医学部 薬理学、[2]香川大学 医学部 循環器腎臓脳卒中内科、
[3]慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科 抗加齢内分泌学講座

P27-150　アンジオテンシンII受容体拮抗薬による不安定プラーク進展抑制効果の検討

岸田　聡 (Kishida, So)[1]、山田　浩之[1]、川人　浩之[1]、加藤　拓[1]、横井　宏和[1]、椿本　恵則[1]、高橋　知三郎[1]、沖垣　光彦[2]、松原　弘明[1]
[1]京都府立医科大学 循環器内科、[2]京都府立医科大学 腎臓内科

P27-151　食塩負荷とアンジオテンシンIIによる血管平滑筋細胞増殖作用の解明

人見　浩史 (Hitomi, Hirofumi)[1]、劉　鋼[1]、細見　直永[2]、清元　秀泰[2]、中野　大介[1]、木村　正司[1]、岩本　隆宏[3]、河野　雅和[2]、西山　成[1]
[1]香川大学 医学部 薬理学、[2]香川大学 医学部 循環器腎臓脳卒中内科、[3]福岡大学 医学部 薬理学

P27-152　高蛋白食負荷Zucker肥満ラットにおける腎障害および血管障害に対するエプレレノンの効果の検討

城所　研吾 (Kidokoro, Kengo)、冨田　奈留也、浪越　為八、佐藤　稔、桑原　篤憲、長洲　一、依光　大祐、西　佑子、駒井　則夫、柏原　直樹
川崎医科大学 内科学（腎）

P27-153　アルドステロン高血圧ではクロト発現が早期より低下する

竹中　ツネオ (Takenaka, Tsuneo)[1]、井上　勉[1]、岡田　浩一[1]、宮崎　孝[2]、鈴木　洋通[1]
[1]埼玉医科大学 腎臓内科、[2]埼玉医科大学 地域医学医療センター

P27-154　HGFは筋線維芽細胞のアノイキスを誘発することで，腎臓における抗線維化作用を発揮する.

楠　博 (Kusunoki, Hiroshi)[1,2]、谷山　義明[1,2]、家串　和真[1,2]、東　純哉[1,2]、堂阪　宜雄[1,2]、真田　文博[1]、鯉渕　信孝[1]、楽木　宏実[1,2]、森下　竜一[1]
[1] 大阪大学 医学部 臨床遺伝子治療学，老年腎臓内科学、
[2]Department of Geriatric Medicine and Nephrology, Osaka university School of Medicine, Suita:

一般ポスター 28（基礎）P28：成因・病態　血管作動性物質　16:30-17:00

座長：甲斐　久史　久留米大学医学部 内科学講座 心臓・血管内科部門

P28-155　腎不全マウスにおける血清Asymmetric Dimethylargininenの上昇が血管内皮に与える影響

梶本　英美 (Kajimoto, Hidemi)[1]、甲斐　久史[2]、安岡　逸[2]、青木　浩樹[1]、姉川　敬裕[2]、今泉　勉[1,2]
[1] 久留米大学 循環器病研究所、[2] 久留米大学 医学部 心臓・血管内科

P28-156　血管内圧の血管内皮Ca2+動態への作用

寒水　康雄 (Kansui, Yasuo)[1]、Kim, Dora[2]、Garland, Christopher[2]、松村　潔[1]、飯田　三雄[1]
[1] 九州大学大学院 病態機能内科学、[2] オックスフォード大学 薬理学

P28-157　Dahl食塩感受性ラットの摘出腸間膜動脈では、$Na^+/K^+/2Cl^-$ cotransporter阻害薬による内皮依存性弛緩反応の改善は認められない

後藤　健一 (Goto, Kenichi)、松村　潔、大坪　俊夫、飯田　三雄
九州大学大学院 病態機能内科学

P28-158　新規生理活性ペプチド、Salusin-αの神経細胞における発現制御機序

中山　千里 (Nakayama, Chisato)[1]、鈴木　紀子[1]、佐藤　健吾[2]、吉本　貴宣[1]、七里　眞義[1]、平田　結喜緒[1]
[1] 東京医科歯科大学大学院 分子内分泌内科学、[2] 東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 先端血液検査学

P28-159　高血圧自然発症ラットのNO合成酵素発現における酸化ストレスの役割

伊藤　修 (Ito, Osamu)[1]、曹　鵬宇[1]、郭　キ[2]、室谷　嘉一[1]、伊藤　大亮[1]、森　建文[2]、伊藤　貞嘉[2]、上月　正博[1]
[1] 東北大学 内部障害学分野、[2] 東北大学 腎・高血圧・内分泌分野

P28-160　健常成人における、高血圧関連遺伝子多型と動脈硬化指標に関する研究（G蛋白質共役型受容体キナーゼ4遺伝子多型はNT-proBNP濃度と関連する）

谷田部　淳一 (Yatabe, Junichi)[1,3]、谷田部　緑[2,3]、眞田　寛啓[1]、渡辺　毅[3]
[1]JA 福島厚生連ヘルスサイエンスリサーチ、[2] 福島県立医科大学医学部薬理学講座、
[3] 福島県立医科大学医学部腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座

一般ポスター 29（基礎・臨床）P29：成因・病態　血管作動性物質　17:00-17:25

座長：長内　智宏　弘前大学医学部 循環器・呼吸器・腎臓内科

P29-161　低用量のerythropoietinは造血を超えて5/6腎摘高血圧ラットの腎機能を改善し、NO産生増大を介して胸部大動脈において内皮機能改善効果と抗炎症作用を発揮する

中島　浩平 (Nakajima, Kohei)、鳥羽　裕恵、森下　真行、吉田　満美子、東條　千里、小原　幸、中田　徹男
京都薬科大学 薬学部 病態薬科学系 臨床薬理学分野

P29-162　内因性ANP、BNPの血管形成における新たな意義

徳留　健 (Tokudome, Takeshi)[1]、岸本　一郎[2]、新藤　隆行[3]、川上　速人[4]、山原　研一[2]、堀尾　武史[2]、河野　雄平[2]、河野　雅和[5]、中尾　一和[6]、寒川　賢治[2]
[1] 国立循環器病センター研究所 高血圧研究室、[2] 国立循環器病センター、
[3] 信州大学大学院医学研究科 臓器発生制御医学講座 発生再生医学分野、
[4] 杏林大学医学部解剖学教室 顕微解剖学部門、[5] 香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学、
[6] 京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学

P29-163　アドレノメデュリン-RAMP2システムによる心保護作用

吉沢　隆浩 (Yoshizawa, Takahiro)[1]、桜井　敬之[1]、神吉　昭子[1]、小山　晃英[1]、新藤　優佳[1]、川上　速人[2]、新藤　隆行[1]
[1] 信州大学 大学院医学系研究科 臓器発生制御医学講座、[2] 杏林大学 医学部 解剖学

P29-164　冠動脈疾患における心外膜脂肪でのアドレノメデュリン、ナトリウム利尿ペプチドクリアランス受容体、炎症性サイトカインの病態生理的意義

竹田　陽介 (Takeda, Yousuke)、錦見　俊雄
獨協医科大学付属病院 循環器内科

P29-165　血管の発生および恒常性維持におけるアドレノメデュリン-RAMP2システムの役割

小山　晃英 (Koyama, Teruhide)[1]、桜井　敬之[1]、神吉　昭子[1]、吉沢　隆浩[1]、新藤　優佳[1]、川上　速人[2]、新藤　隆行[1]
[1] 信州大学 大学院医学系研究科 臓器発生制御医学講座、[2] 杏林大学 医学部 解剖学

一般ポスター 30（基礎）P30：メタボリックシンドローム・インスリン抵抗性・肥満　3　16:30-16:55

座長：大野　洋一　埼玉医科大学 腎臓内科・地域医学医療センター

P30-166　キサンチンオキシドリダクターゼのメタボリックシンドロームにおける役割

大坪　俊夫 (Ohtsubo, Toshio)、松村　潔、後藤　健一、飯田　三雄
九州大学 医学部 病態機能内科学

P30-167　メタボリックシンドロームモデルラットに対するテルミサルタン経口投与は脳延髄交感神経活動中枢内酸化ストレス抑制による交感神経活動作用を有する

今野　里美 (Konno, Satomi)、廣岡　良隆、岸　拓弥、砂川　賢二
九州大学 大学院 医学研究院 循環器内科学

P30-168　食塩感受性高血圧ラットにおけるインスリン感受性と組織11β-hydroxysteroid dehydrogenase1の関係

米谷　充弘 (Kometani, Mitsuhiro)、朱　傲霜、米田　隆、唐島　成宙、出村　昌史、織田　展成、臼倉　幹哉、山本　泰弘
金沢大学大学院臓器機能制御学（内科）

P30-169　メタボリックシンドロームモデルラットにおける腎障害発症機序の検討

安井　菜穂美 (Yasui, Naomi)[1]、奈良　安雄[2]、家森　幸男[3]、池田　克巳[1]
[1] 武庫川女子大学薬学部、[2] 就実大学薬学部、[3] 武庫川女子大学国際健康開発研究所

P30-170　前駆脂肪細胞の遊走はC-C motif chemokine receptor 1を介して促進される

上野　高浩 (Ueno, Takahiro)[1]、福田　昇[1]、常見　明子[1]、松本　太郎[1]、本江　純子[2]、田平　和宣[1]、松本　史郎[1]、奈倉　千苗美[1]、斎藤　穎[2]、相馬　正義[3]、松本　紘一[1]
[1] 日本大学医学部 内科学系 腎臓高血圧内分泌内科学分野、[2] 日本大学医学部 内科学系 循環器内科学分野、[3] 日本大学医学部 内科学系 総合内科学分野

一般ポスター 31（臨床）P31：メタボリックシンドローム・インスリン抵抗性・肥満　1　17:00-17:30

座長：久代　登志男　日本大学医学部 総合健診センター

P31-171　肥満高血圧症患者のアミノ酸代謝

西島　聖子 (Nishijima, Kiyoko)[1]、蒲浦　光正[2]、安東　敏彦[3]、水嶋　春朔[1]、朽久保　修[1]
[1] 横浜市立大学 大学院 医学研究科 情報システム予防医学、[2] 神奈川県予防医学協会、[3] 味の素株式会社ライフサイエンス研究所

P31-172　血清尿酸値は血圧上昇に関与しているか?—職域男性における検討—

大坪　俊夫 (Ohtsubo, Toshio)、松村　潔、後藤　健一、鬼木　秀幸、飯田　三雄
九州大学 医学部 病態機能内科学

P31-173　食後高血糖が心血管病を引き起こすメカニズムの末梢および中心血圧からの検討

高田　康徳 (Takata, Yasunori)[1]、船田　淳一[2]、橋田　英俊[2]、松本　有司[3]、日浅　豪[4]、吉井　豊史[4]、岡山　英樹[1]、小原　克彦[1]、檜垣　實男[1]、大澤　春彦[1]
[1] 愛媛大学医学部、[2] 国立病院機構愛媛病院、[3] 西条中央病院、[4] 喜多医師会病院

P31-174　軽症糖尿病患者における高血圧、メタボリックシンドロームと腎機能の関連

古川　健治 (Furukawa, Kenji)[1]、米田　隆[2]、唐島　成宙[2]、出村　昌史[2]、武田　仁勇[2]
[1] 石川県済生会金沢病院 内科、[2] 金沢大学 大学院 臓器機能制御学 内分泌代謝内科

P31-175　糖尿病患者における高血圧治療の臨床的特徴

岡田　健太 (Okada, Kenta)
自治医科大学 内分泌代謝科

P31-176　高用量ARB(Valsartan)のCKDおよびメタボリックシンドローム合併高血圧患者への有用性についての検討

下司　映一 (Geshi, Eiichi)、入江　慎治、山崎　恭子、片桐　敬
昭和大学 保健医療学部 内科学

一般ポスター 32（基礎・臨床）P32：成因・病態　その他　17:00-17:25

座長：菅原　明　　東北大学大学院医学系研究科 先端再生生命科学寄附講座

P32-177　Advanced glycation end products(AGE)受容体(RAGE)を過剰発現した血管平滑筋細胞株におけるMCP-1の発現機序

早川　恵理 (Hayakawa, Eri)、吉本　貴宣、関澤　直子、土屋　恭一郎、杉山　徹、七里　眞義、平田　結喜緒

東京医科歯科大学 大学院 分子内分泌内科学（内分泌・糖尿病・代謝内科）

P32-178　肺高血圧症モデルマウスにおける血管内皮細胞の低酸素応答転写因子(HIF1-β)の役割

浦田　将久 (Urata, Masahisa)[1,3]、冨田　修平[1]、福原　弥生[1]、木平　孝高[1]、池田　康将[1]、石澤　啓介[1]、土屋　浩一郎[2]、北川　哲也[3]、玉置　俊晃[1]

[1] 徳島大学 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 薬理学、[2] 徳島大学 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 医薬品機能解析学、[3] 徳島大学 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 心臓血管外科学

P32-179　小児における圧反射の亢進と血行動態的影響

村上　智明 (Murakami, Tomoaki)[1]、武田　充人[2]、上野　倫彦[2]

[1] 自治医科大学 とちぎ子ども医療センター 小児科、[2] 北海道大学病院 小児科

P32-180　グルココルチコイド過剰によって誘発される高血圧と心血管傷害のメカニズムの検討

村瀬　珠代 (Murase, Tamayo)[1]、永田　浩三[2]、岩瀬　江利加[2]、坪井　公司[1]、酒井　雅史[2]、井上　千沙[2]、山田　雄一郎[2]、服部　拓哉[1]、大嶽　正文[1]、古川　まゆ子[2]、室原　豊明[3]、古池　保雄[2]

[1] 名古屋大学大学院 医学系研究科 病態解析学分野、[2] 名古屋大学 医学部 保健学科、[3] 名古屋大学大学院 医学系研究科 循環器内科学

P32-181　副腎アンドロゲンDHEASの抗動脈硬化作用における性差の検討

吉田　守美子 (Yoshida, Sumiko)[1]、粟飯原　賢一[1]、伊勢　孝之[1]、上田　由佳[1]、八木　秀介[2]、岩瀬　俊[2]、山田　博胤[2]、赤池　雅史[2]、佐田　政隆[2]、松本　俊夫[1]

[1] 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 生体情報内科学、[2] 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 循環器内科学

一般ポスター 33（臨床）P33：高血圧・合併症の診断　血圧・心拍　16:30-17:05

座長：鄭　忠和　　鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 循環器呼吸器代謝内科学

P33-182　食塩摂取制限および利尿薬投与による睡眠血圧の変化と左室重量係数関連について

石川　譲治 (Ishikawa, Joji)、星出　聡、江口　和男、島田　和幸、苅尾　七臣

自治医科大学 循環器内科

P33-183　腎障害を合併した高血圧患者における基底血圧および自律神経活動とHealth-Related QOLの関係

岡野　泰子 (Okano, Yasuko)[1]、田村　功一[1]、増田　真一朗[1]、東　公一[1]、矢花　眞知子[1]、戸谷　義幸[1]、朽久保　修[2]、梅村　敏[1]

[1] 横浜市立大学大学院 医学研究科 病態制御内科学、[2] 横浜市立大学大学院 医学研究科 情報システム予防医学

P33-184　維持血液透析患者において家庭血圧の日内変動は冬季に増加する

竹中　恒夫 (Takenaka, Tsuneo)、加藤　信孝、高根　裕史、鈴木　洋通

埼玉医科大学 腎臓内科

P33-185　高血圧治療薬としてのシルニジピンの心臓自律神経活性への好影響

猪飼　亜希子 (Ikai, Akiko)[1]、竹島　里紗[1]、小倉　千佳[1]、山邉　裕子[2]、尾野　亘[3]、藤田　正俊[1]

[1] 京都大学 大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻、[2] 京都大学 医学部附属病院、[3] 京都大学 大学院 医学研究科 循環器内科学

P33-186　境界型糖尿病を有する高血圧患者における腹部内臓脂肪量と血圧日内変動・代謝機能との関連性について

阿南　太 (Anan, Futoshi)[1]、衛藤　健志[1]、岩尾　哲[1]、犀川　哲典[2]

[1] 大分赤十字病院 循環器科、[2] 大分大学医学部付属病院 循環器内科

P33-187　２型糖尿病患者における血小板由来マイクロパーティクル（PDMP）は、早朝血圧と関係しＡＲＢにて血圧非依存的に低下する

坂口　正芳 (Sakaguchi, Masayoshi)、津田　安都子、門田　文、一色　啓二、荒木　信一、杉本　俊郎、宇津　貴

滋賀医科大学 内分泌代謝・腎臓・神経内科

P33-188　降圧効果安定までの期間と降圧効果についてのロサルタン/HCTZとARB最大容量との比較：J-HOME-AI研究

目時　弘仁 (Metoki, Hirohito)[1]、堅田　早紀子[2]、小原　拓[2]、菅野　厚博[2]、大久保　孝義[3]、今井　潤[2]、J-HOME-AI 研究グループ[4]

[1] 東北大学 大学院医学系研究科 遺伝病学分野、[2] 東北大学 大学院薬学・医学系研究科 臨床薬学分野、
[3] 東北大学 大学院薬学研究科 医薬開発構想、[4]J-HOME-AI 研究グループ

一般ポスター 34（臨床・予防）P34：高血圧・合併症の診断　画像診断・その他　17:00-17:25

座長：伊藤　隆之　愛知医科大学医学部 循環器内科

P34-189　人間ドック健診における酸化ストレス測定の意義

福井　敏樹 (Fukui, Toshiki)、山内　一裕、丸山　美江、安田　忠司、吉鷹　寿美江、吉川　英治、安部　陽一

NTT 西日本高松診療所予防医療センター

P34-190　拡張期心不全患者における左室収縮能および弛緩能の検討：スペックルトラッキング法を用いた検討

杉本　匡史 (Sugimoto, Tadafumi)[1]、土肥　薫[1]、大西　勝也[2]、杉浦　英美喜[1]、市川　和秀[1]、中嶋　寛[1]、高村　武志[1]、田辺　正樹[1]、山田　典一[1]、宮原　眞敏[1]、中村　真潮[1]、伊藤　正明[1]

[1] 三重大学 大学院 医学系研究科 循環器内科、[2] 三重大学 大学院 医学系研究科 臨床検査医学

P34-191　心血管疾患発症リスク評価における連続変量としての中心動脈圧の意義：高リスク群ならびに低リスク群判別指標としての有用性の検討

松本　知沙 (Matsumoto, Chisa)[1]、冨山　博史[1]、小平　真理[1]、吉田　雅伸[1]、山田　治広[1]、椎名　一紀[1]、山科　章[1]、山崎　睦夫[2]、宮脇　義則[2]

[1]The Departement of Cardiology, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan、[2]Omron Health Care. CO. LTD. Kyoto, Japan

P34-192　中高齢高血圧外来患者における頭痛～有病率とその特徴～

永井　勅久 (Nagai, Tokihisa)[1]、小原　克彦[1]、伊賀瀬　道也[1]、田原　康玄[2]、川本　龍一[3]、三木　哲郎[1]

[1] 愛媛大学大学院 医学系研究科 加齢制御内科学、[2] 愛媛大学大学院 医学系研究科 統合医科学、[3] 西予市立野村病院 内科

P34-193　高齢予備世代の高血圧患者とMRI集団健診を用いたハイリスクアプローチ：京都府乙訓地域における疫学研究

金井　恵理 (Kanai, Eri)[1]、小川　史顕[2]、中川　正法[3]、松原　弘明[1]、成瀬　昭二[4]

[1] 京都府立医科大学 大学院 循環器・腎臓内科学、[2] 京都府乙訓保健所、
[3] 京都府立医科大学 大学院 神経内科学、[4] 京都府健康福祉部

一般ポスター 35（臨床）P35：高血圧性臓器障害　腎臓　3　16:30-17:00

座長：冨田　公夫　熊本大学大学院医学薬学研究部 腎臓内科

P35-194　推定糸球体濾過率(eGFR)は心筋梗塞後の予後を予測する

西山　悟史 (Nishiyama, Satoshi)、渡邉　哲、今田　恒夫、久保田　功

山形大学 医学部 循環・呼吸・腎臓内科学

P35-195　循環器内科通院中の高齢高血圧患者における尿酸正常高値～軽度高尿酸血症と腎機能低下との関連

浜田　紀宏 (Hamada, Toshihiro)[1]、水田　栄之助[1]、松澤　和彦[2]、山田　健作[1]、下山　晶樹[3]、加藤　雅彦[1]、太田原　顕[4]、重政　千秋[2]、久留　一郎[5]

[1] 鳥取大学 医学部 循環器内科、[2] 鳥取大学 医学部 病態情報内科学、[3] 下山医院、[4] 山陰労災病院 循環器科、
[5] 鳥取大学 大学院 医学研究科 再生医療学

P35-196　慢性腎臓病は脳血管障害の重症度に影響する－脳腎循環の観点から－

草場　哲郎 (Kusaba, Tetsuro)[1]、石田　良[1]、中ノ内　恒如[1]、田中　章浩[2]、中瀬　泰然[2]、浦壁　洋太[3]、辰巳　哲也[3]、沖垣　光彦[3,4]、森　泰清[4]、松原　弘明[4]

[1] 京都第一赤十字病院 腎臓内科・腎不全科、[2] 公立南丹病院 神経内科、[3] 公立南丹病院 循環器内科、
[4] 京都府立医科大学 循環器・腎臓内科

P35-197　外来診療において高血圧患者のeGFRは十分考慮されているか?

川邊　哲也 (Kawabe, Tetsuya)、羽野　卓三

和歌山県立医科大学 医学教育・集団医療学

P35-198　慢性腎臓病患者における高分子量アディポネクチンは内臓脂肪蓄積ではなく腎機能低下と強く関連する

中川　直樹 (Nakagawa, Naoki)[1]、藤野　貴行[1]、佐藤　伸之[1]、菊池　健次郎[2]、長谷部　直幸[1]
[1] 旭川医科大学 内科学講座 循環呼吸神経病態内科学分野、[2] 北海道循環器病院

P35-199　保存期腎不全外来における24時間蓄尿でのユリメートの使用効果

武田　一人 (Takeda, Kazuhito)、三浦　修平
麻生飯塚病院 腎臓内科、腎センター

一般ポスター 36（臨床）P36：高血圧性臓器障害　腎臓　4　17:00-17:30

座長：冨田　奈留也　川崎医科大学 腎臓内科

P36-200　透析高血圧に関連する要因について―主要な降圧作用要因の検討―

工藤　啓 (Kudo, Kei)
医療法人 岩切病院 内科

P36-201　慢性腎臓病に対するアルドステロン拮抗薬の尿蛋白と腎機能に対する４年間の前向き検討

小川　哲也 (Ogawa, Tetsuya)[1]、大前　清嗣[2]、青木　明子[1]、臼井　亮介[1]、松田　奈美[1]、新田　孝作[1]
[1] 東京女子医科大学 第四内科、[2] 吉川内科小児科病院

P36-202　顕性糖尿病性腎症を合併した高血圧患者の短期血圧変動性に対するAT1受容体阻害薬の効果についての検討

東　公一 (Azuma, Koichi)、田村　功一、金岡　知彦、大澤　正人、三橋　洋、石上　友章、戸谷　善幸、梅村　敏
横浜市立大学 医学部 病態制御内科学

P36-203　早朝高血圧患者に対するアンジオテンシンII受容体拮抗薬のeGFR及び脈波伝播速度に及ぼす影響

内田　治仁 (Uchida, Haruhito)[1]、中村　好男[2]、花山　宜久[2]、槇野　博史[1]
[1] 岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学、[2] 岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 総合診療内科

P36-204　降圧治療におけるeGFRの変化と尿中アルブミン排泄量の変化の関係

柴崎　誠一 (Shibasaki, Seiichi)[1]、江口　和男[2]、松井　芳夫[2]、石川　譲治[2]、星出　聡[2]、島田　和幸[2]、苅尾　七臣[2]
[1] 岩国市立錦中央病院 内科、[2] 自治医科大学 循環器内科

P36-205　慢性腎臓病患者における各種カルシウム拮抗薬の腎保護作用の比較

此下　忠志 (Konoshita, Tadashi)、木村　朋子、藤井　美紀、牧野　耕和、荒川　健一郎、若原　成行、居軒　功、宮森　勇
福井大学 医学部 病態制御医学講座・内科学（3）

一般ポスター 37（基礎）P37：高血圧性臓器障害　腎臓　3　16:30-17:00

座長：神出　計　大阪大学大学院医学系研究科 老年・腎臓内科学

P37-206　マウス高血圧性腎障害にはたすfractalkine/CX3CL1の意義

清水　和朗 (Shimizu, Kazuaki)[1]、古市　賢吾[1]、北川　清樹[1]、坂井　宣彦[1]、和田　隆志[2]
[1] 金沢大学 医薬保健学域 医学系 恒常性制御学、[2] 金沢大学 医薬保健学域 医学系 血液情報統御学

P37-207　ショ糖負荷Dahl食塩感受性高血圧ラットにおけるシルニジピンの降圧と腎酸化ストレス減少効果

米城　淑美 (Yoneki, Yoshimi)[1]、森　建文[1,2]、大崎　雄介[1]、川俣　彰裕[2]、中道　崇[1]、小川　晋[1]、佐藤　博[1]、伊藤　貞嘉[1]
[1] 東北大学病院 腎高血圧内分泌科、[2] 東北大学 保健管理センター

P37-208　1型糖尿病モデルラットにおけるカルシウム拮抗薬とアンジオテンシン受容体拮抗薬（ARB）併用療法の効果―シルニジピンとアムロジピンの比較―

有冨　静 (Aritomi, Shizuka)、新沼　多美、大村　香織、三井　彰、今田　智之、塩崎　誠
味の素株式会社 医薬カンパニー 医薬研究所 創薬開発研究部 創薬薬理研究室

P37-209　食餌性の酸化ストレスが血圧の上昇およびLOX-1を介して血管障害を惹起する

上竹　勇三郎 (Uetake, Yuzaburo)[1]、下澤　達雄[2]、松井　宏光[1]、森　典子[1]、王　紅[1]、穆　勝宇[1]、藤田　敏郎[1]
[1] 東京大学大学院医学系研究科 腎臓内分泌内科、[2] 東京大学検査部

P37-210 高血圧モデルマウスにおける炎症性血管傷害と早期AT_1受容体ブロッカー投与による抑制作用：ヒトレニン・アンジオテンシノーゲントランスジェニックマウスを用いた検討

稲葉　慎二 (Inaba, Shinji)[1,2]、岩井　將[1]、菅野　晴美[1]、古野　めぐみ[1]、中岡　裕智[1]、岡山　英樹[2]、茂木　正樹[1]、檜垣　實男[2]、堀内　正嗣[1]

[1]愛媛大学院大学 医学系研究科 分子心血管生物・薬理学 、[2]愛媛大学院大学 病態情報内科学

P37-211 低用量テルミサルタンはRegulator of G protein signaling-2（RGS2）欠損マウスの高血圧性血管障害を改善する―Rgs2遺伝子多型診断と降圧薬選択の可能性について―

松本　幸子 (Matsumoto, Sachiko)[1,2]、神出　計[1,3]、坂野　史明[1]、井上　信孝[4]、河野　雄平[2]、宮田　敏行[1]

[1]国立循環器病センター 研究所、[2]国立循環器病センター 内科高血圧腎臓部門、[3]大阪大学 医学系研究科 老年・腎臓内科、[4]神戸労災病院 循環器科

一般ポスター 38（基礎）P38：高血圧性臓器障害　腎臓　4　17:00-17:25

座長：丸茂　文史　東京大学大学院医学系研究科 腎臓内分泌内科 腎臓再生医療講座

P38-212 Wistar-Kyotoラットにおいて、高食塩負荷は血圧変化を伴わずにインスリン抵抗性および酸化ストレスを増加させ、標的臓器障害を惹起する

谷田部　緑 (Yatabe, Midori)[1,2]、谷田部　淳一[2,3]、渡辺　毅[2]、眞田　寛啓[3]

[1]福島県立医科大学医学部薬理学講座、[2]福島県立医科大学医学部腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座、[3]JA 福島厚生連ヘルスサイエンスリサーチ

P38-213 腎障害の指標としての尿中マイクロRNAの意義

高橋　理恵 (Takahashi, Rie)、廣川　剛、岩井　直温

国立循環器病センター 研究所 疫学部

P38-214 メタボリックシンドロームモデルラットの腎障害に対するオルメサルタン・アゼルニジピン併用とオルメサルタン・サイアザイド利尿薬併用の効果の比較

長洲　一 (Nagasu, Hajime)、佐藤　稔、桑原　篤憲、作田　健夫、依光　大祐、浪越　為八、冨田　奈留也、佐々木　環、柏原　直樹

川崎医科大学 内科学（腎）

P38-215 Ca拮抗薬シルニジピンのN型Caチャネル阻害作用による骨粗鬆症抑制効果について

志水　秀郎 (Shimizu, Hideo)[1,2]、中神　啓徳[2]、楽木　宏実[1]、森下　竜一[2]

[1]大阪大学大学院 医学研究科 老年・腎臓内科、[2]大阪大学大学院 医学研究科 臨床遺伝子治療

P38-216 アンジオテンシン受容体拮抗薬とサイアザイド系利尿薬の骨代謝への影響

中神　啓徳 (Nakagami, Hironori)[1]、志水　秀郎[2,3]、楽木　宏実[2]、森下　竜一[3]

[1]大阪大学 医学系研究科 遺伝子治療学、[2]大阪大学 医学系研究科 老年・腎臓内科、[3]大阪大学 医学系研究科 臨床遺伝子治療学

一般ポスター 39（臨床）P39：高血圧性臓器障害　心臓・血管　16:30-17:00

座長：室原　豊明　名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学

P39-217 本態性高血圧における心腎合併症発症の早期マーカーの検討

茂庭　仁人 (Moniwa, Norihito)、小山　雅之、山下　智久、太田　英喜、石村　周太郎、横山　豊、田中　希尚、百石　雅哉、伊藤　洋輔、富樫　信彦、吉田　英昭、宮崎　義則、島本　和明

札幌医大 医学部 第二内科

P39-218 拡張不全心に対するアンジオテンシン受容体拮抗薬/利尿剤合剤の有用性

佐々木　正太 (Sasaki, Shota)、東　昭史、横山　晴子、梶川　正人、渡邉　義和、河野　康之、上田　健太郎、加藤　雅也、土手　慶五

Division of Cardiology, Hiroshima City ASA Hospital

P39-219 腹膜透析施行中の高血圧患者におけるAT1受容体拮抗薬(ARB)投与は血圧短期変動性と心血管リモデリングを改善する

大澤　正人 (Osawa, Masato)[1]、田村　功一[1]、金岡　知彦[1]、柳　麻衣[1]、東　公一[1]、重永　豊一郎[1]、三橋　洋[1]、石上　友章[1]、戸谷　義幸[1]、内野　和顕[1]、常田　康夫[2]、梅村　敏[1]

[1]横浜市立大学 医学研究科 病態制御内科学、[2]藤沢市民病院 腎臓内科

P39-220 血清LDL/HDL比の上昇は血管内皮機能障害因子となるか？
－高血圧および正常血圧者での検討－

杉浦　知範 (Sugiura, Tomonori)、土肥　靖明、山下　純世、山本　浩司、若松　良済、武田　裕、木村　玄次郎

名古屋市立大学大学院 医学研究科 心臓・腎高血圧内科学

P39-221　高血圧患者における上腕動脈阻血反応および内皮非依存性血管拡張反応と他の潜在性臓器障害指標との関連

吉田　雅伸 (Yoshida, Masanobu)[1]、冨山　博史[1]、松本　知沙[1]、小平　真理[1]、山田　治広[2]、椎名　一紀[1]、山科　章[1]
[1] 東京医科大学病院 循環器内科、[2] 東京医科大学 八王子医療センター 循環器内科

P39-222　高血圧患者におけるSirolimus-eluting stent留置後の中期・長期(3年間)成績の検討

澤井　俊樹 (Sawai, Toshiki)、宮原　眞敏、仲田　智之、中嶋　寛、玉田　浩也、山田　典一、中村　真潮、伊藤　正明
三重大学 医学部 附属病院 循環器内科

一般ポスター 40（臨床）P40：高血圧性臓器障害　血管・その他　17:00-17:30

座長：山門　實　　社会福祉法人三井記念病院 総合健診センター

P40-223　糖尿病合併高血圧症患者におけるアディポネクチンと血小板マイクロパーティクルに対するロサルタン・ヒドロクロロチアジド配合剤の効果

佐藤　大祐 (Sato, Daisuke)[1]、野村　昌作[2]、島津　孝幸[1]、稲見　則仁[5]、梶浦　孝之[5]、山田　光一[5]、上羽　哲也[3]、生水　晃[4]、浦瀬　文明[6]、大谷　肇[1]、岩坂　壽二[1]
[1] 関西医科大学附属滝井病院 循環器腎代謝内分泌内科、[2] 市立岸和田市民病院 血液内科、[3] 市立岸和田市民病院 脳神経外科、[4] 社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会泉尾病院 糖尿内分泌科、[5] すずらん病院、[6] 近畿大学医学部堺病院 血液内科

P40-224　心血管リスクをもつ患者で血管内皮機能障害は夜間高血圧に関連している

甲谷　友幸 (Kabutoya, Tomoyuki)、星出　聡、江口　和男、石川　譲治、島田　和幸、苅尾　七臣
自治医科大学 内科学講座 循環器内科学

P40-225　慢性腎臓病合併高血圧患者における心機能と中心大動脈硬化の連関

島倉　淳泰 (Shimakura, Atsuhiro)、高田　正信、長澤　秀彦
富山逓信病院 内科

P40-226　高血圧患者における潜在性糖代謝異常の動脈硬化進行に対する影響

島田　誠二郎 (Shimada, Seijiro)、杉村　圭一、井野　光、松浦　真宣、濱　純吉
近畿大学 医学部 堺病院 循環器内科

P40-227　糖尿病合併高血圧症患者におけるAT1受容体ブロッカーと利尿薬の少量併用療法によるアルドステロンブレイクスルー現象

米田　隆 (Yoneda, Takashi)、武田　仁勇、唐島　成宙、出村　昌史、臼倉　幹哉、織田　展成、高田　裕之、山本　泰弘、橋本　篤、森　俊介、米谷　充弘、山岸　正和
金沢大学大学院 医学研究科 臓器機能制御学 内科

P40-228　血圧値、血圧変動と網膜血流、網膜血流波形における歪度の関連

柴　友明 (Shiba, Tomoaki)[1]、堀　裕一[1]、西信　良嗣[1]、前野　貴俊[1]、高橋　真生[2]
[1] 東邦大学 医療センター 佐倉病院 眼科、[2] 東邦大学 医療センター 佐倉病院 循環器センター

一般ポスター 41（コメディカル）P41：1　16:30-16:55

座長：有田　幹雄　　和歌山県立医科大学 保健看護学部

P41-229　減塩モニタと携帯電話による通信を用いた新たな減塩指導の効果に関する研究

櫻井　希 (Sakurai, Nozomi)、山末　耕太郎、杤久保　修、水嶋　春朔
横浜市立大学大学院 医学研究科 情報システム予防医学

P41-230　肥満合併高血圧患者における複合的生活習慣の修正：栄養食事指導を中心とした介入の有用性

増田　香織 (Masuda, Kaori)[1]、山下　裕江[1]、早田　福子[1]、大田　祐子[2]、宮田　恵里[2]、尾中　宇蘭[2]、土橋　卓也[2]
[1] 国立病院機構 九州医療センター 栄養管理室、[2] 国立病院機構 九州医療センター 高血圧内科

P41-231　メタボリックシンドローム支援外来の成績　－生活習慣の修正に向けた患者支援－

坂本　和美 (Sakamoto, Kazumi)、中西　容子、高桑　浩、高田　重男
金沢市立病院 メタボリックシンドロームセンター

P41-232　個別面談プログラムによる特定保健指導の取り組み

佐々木　正子 (Sasaki, Masako)[1]、宗形　麻美[1]、池　香苗[1]、及川　恵理子[1]、高橋　宏彰[2]、齋藤　希世[2]、丸子　由香梨[2]、三澤　瑞枝[2]、池田　歩美[2]、大堀　弓子[2]、柴崎　雅江[2]、菊池　健次郎[3]

[1] 特定医療法人北海道循環器病院 栄養科、[2] 特定医療法人北海道循環器病院 予防医学センター、
[3] 特定医療法人北海道循環器病院 循環器内科

P41-233　積極的な保健指導が職域集団の血圧に及ぼす影響

成田　富士子 (Narita, Fujiko)[1]、松村　潔[2]、北園　みゆき[1]、三好　美智子[1]、大坪　俊夫[2]、後藤　健一[2]、福原　正代[2]、大田　祐子[2]、飯田　三雄[2]

[1] 西鉄健康管理センター、[2] 九州大学 大学院 病態機能内科学

一般ポスター 42（コメディカル）P42：2　17:00-17:25

座長：向山　政志　京都大学大学院医学研究科 臨床病態医科学・内分泌代謝内科

P42-234　当院におけるアンギオテンII受容体拮抗薬の処方状況

佐藤　淳也 (Satou, Junya)[1]、高橋　和奈[1]、石川　祥子[1]、堀井　智博[1]、山内　敦司[2]、矢尾　尚之[2]、阿部　和利[2]、桜木　均[2]、高橋　政明[2]、野呂　忠孝[2]、小山　聡[2]、辻　忠克[2]、丸山　純一[2]、菊池　健次郎[2]

[1] 旭川リハビリテーション病院、[2] 旭川リハビリテーション病院内科

P42-235　メタボリックシンドロームを想定したマルチプルリスクファクター患者における高血圧治療薬の使用実態に関する研究

荒川　基記 (Arakawa, Motoki)[1]、安野　伸浩[2]、田中　政彦[3]、呉　兆礼[4]、朝比奈　完[4,5]、山崎　力[6]、日高　慎二[1]

[1] 日本大学 薬学部 薬剤師教育センター、
[2] 特定医療法人社団 新都市医療研究会 [関越] 会 関越病院 中央診療部 薬剤科、
[3] 特定医療法人社団 新都市医療研究会 [関越] 会 関越病院 内科、
[4] 医療法人社団 鴻鵠会 中野サンブライトクリニック、[5] 医療法人社団 鴻鵠会 睦町クリニック、
[6] 東京大学大学院 医学系研究科 臨床疫学システム講座

P42-236　高血圧を含むリスク集積群における喫煙の影響

本城　真紀子 (Honjho, Makiko)、武田　和夫、中岡　光恵、蒲池　文子、大島　瑞代、松本　早苗、八木　孝和、森口　次郎、井上　美穂、高梨　芳彰、池田　正之

財団法人 京都工場保健会

P42-237　高齢者における入浴時の血圧変動

岩根　直美 (Iwane, Naomi)[1]、羽野　卓三[1,2]、川邊　哲也[1,2]

[1] 和歌山県立医科大学 保管看護学部、[2] 和歌山県立医科大学 医学教育・集団医療学

P42-238　生活習慣とメタボリックシンドローム診断要素数の関係-HIPOP-OHP研究

片野　さゆり (Katano, Sayuri)[1]、中村　保幸[1,2]、中村　亜紀[1]、村上　義孝[3]、田中　太一郎[4]、三浦　克之[2]、岡村　智教[5]、上島　弘嗣[2]

[1] 京都女子大学家政学部生活福祉学科、[2] 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学、
[3] 滋賀医科大学社会医学講座医療統計学部門、[4] 山梨大学医学部社会医学講座、[5] 国立循環器病センター予防検診部

一般ポスター 43（基礎）P43：非薬物療法　16:30-17:00

座長：久保田　功　山形大学医学部 器官病態統御学講座 循環・呼吸・腎臓内科学分野

P43-239　乳カゼイン由来トリペプチドVal-Pro-Pro, Ile-Pro-Proのラット経口投与による血中NO濃度の上昇とNO合成酵素阻害剤で誘発した血圧上昇の抑制

野中　敦子 (Nonaka, Atsuko)[1]、弘田　辰彦[1]、内田　直人[1]、松下　晃子[1]、大木　浩司[1]、北風　政史[2]

[1] カルピス株式会社 健康・機能性食品開発研究所、[2] 国立循環器病センター

P43-240　鰹節抽出物は自然発症高血圧モデルラットにおいて循環renin-angiotensin系（RAS）抑制と1成分L-histidineによる脳内RAS抑制により降圧効果を発揮し、腎機能を改善する

杉本　洋一 (Sugimoto, Yoichi)[1]、鳥羽　裕恵[1]、田中　良実[1]、立岡　慶祐[1]、折田　優[1]、小原　幸[1]、針生　仁[2]、時高　正明[2]、中田　徹男[1]

[1] 京都薬科大学 病態薬科学系 臨床薬理学分野、[2] 株式会社シマヤ 商品開発部

P43-241　プレコンディショニングとは異なるポストコンディショニングによる心保護メカニズム

田和　正志 (Tawa, Masashi)[1,2]、大喜多　守[2]、安屋敷　和秀[1,3]、松村　靖夫[2]、岡村　富夫[1]

[1] 滋賀医科大学 医学部 薬理学講座、[2] 大阪薬科大学 薬学部 病態分子薬理学研究室、[3] 兵庫医療大学 薬学部 医療薬学科

P43-242　5/6腎摘除慢性腎不全モデルラットにおける運動とolmesartanの腎保護作用に対するカルボニルストレスの役割

郭　其 (Guo, Qi)[1]、森　建文[1,3]、金澤　雅之[2]、須田　千尋[2]、伊藤　修[2]、宮田　敏男[4]、伊藤　貞嘉[1]、上月　正博[2]
[1] 東北大学 腎高血圧内分泌科、[2] 東北大学 内部障害学、[3] 東北大学保健管理センター、[4] 東北大学創成化学応用センター

P43-243　5/6腎摘慢性腎不全ラットの高血圧、インスリン感受性、交感神経活性と腎障害に対するcilnidipineと長期的運動の併用効果

郭　其 (Guo, Qi)[1]、金澤　雅之[2]、森　建文[1,3]、張　文博[2]、須田　千尋[2]、伊藤　修[2]、伊藤　貞嘉[1]、上月　正博[2]
[1] 東北大学 腎高血圧内分泌科、[2] 東北大学 内部障害学、[3] 東北大学 保健管理センター

P43-244　ガーリックスプラウト葉のアンジオテンシンII誘発血圧上昇抑制作用

石川　千賀子 (Ishikawa, Chikako)、小山　智之、矢澤　一良
東京海洋大学大学院 海洋科学技術研究科 食機能保全科学専攻 ヘルスフード科学講座

一般ポスター 44（臨床）P44：薬物療法　抗アルドステロン薬　17:00-17:30

座長：東　幸仁　広島大学大学院医歯薬学総合研究科 創生医科学専攻心臓血管生理医学

P44-245　選択的アルドステロンブロッカー（SAB）エプレレノン；本態性高血圧患者での併用療法の有用性

佐藤　敦久 (Sato, Atsuhisa)[1]、福田　誠一[1]、丸山　達也[2]
[1] 国際医療福祉大学 三田病院 内科、[2] 慶應義塾大学医学部内科

P44-246　難治性高血圧症および原発性アルドステロン症に対するエプレレノンの有用性について

後藤　敏和 (Goto, Toshikazu)、鈴木　恵綾、深瀬　幸子
山形県立中央病院 内科

P44-247　本態性高血圧患者に対する低用量（12.5-25mg/日）スピロノラクトン追加投与の有用性

花澤　智大 (Hanazawa, Tomohiro)[1]、小笠原　慧[1]、小原　拓[1,2]、目時　弘仁[1,3]、浅山　敬[4]、菊谷　昌浩[1]、大久保　孝義[1,4]、今井　潤[1]
[1] 東北大学大学院医学・薬学系研究科臨床薬学、[2] 東北大学病院薬剤部、[3] 東北大学大学院遺伝病学、
[4] 東北大学大学院医薬開発構想寄附講座

P44-248　原発性アルドステロン症の薬物療法におけるエプレレノンとスピロノラクトンの有用性と安全性の検討

柴田　洋孝 (Shibata, Hirotaka)、本杉　裕一郎、栗原　勲、三石　木綿子、武田　彩乃、伊藤　裕
慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科

P44-249　選択的アルドステロンブロッカー、エプレレノンの朝1回投与は降圧不十分な本態性高血圧症患者の夜間−早朝高血圧を改善する

太田　晃一 (Ohta, Kouichi)[1]、篠原　幸人[1]、佐藤　敦久[2]
[1] 国家公務員共済組合連合会 立川病院 神経内科、[2] 国際医療福祉大学 三田病院 内科

P44-250　オルメサルタン及び少量エプレレノン併用による降圧及び臓器保護効果

高田　裕之 (Takata, Hiroyuki)[1]、平岩　善雄[1]、唐島　成宙[2]、米田　隆[2]、出村　昌史[2]、武田　仁勇[2]
[1] 富山赤十字病院内科、[2] 金沢大学大学院臓器機能制御学（内科）

一般ポスター 45（臨床）P45：薬物療法　ARB・利尿薬併用　1　16:30-17:00

座長：佐藤　文俊　東北大学医学部 腎高血圧内分泌科

P45-251　治療抵抗性高血圧患者を対象としたロサルタン/HCTZ合剤による治療成績：多施設共同前向き観察試験（CHAT−P研究）

角　俊一郎 (Sumi, Shunichiro)、井上　裕紀子、松本　研三、丸山　誠代、福田　佑介、古山　正大、安藤　智恵、久保田　和充、東條　秀明、三好　恵、山之内　良雄、浦田　秀則
福岡大学 筑紫病院 内科第一

P45-252　G蛋白質共役型受容体キナーゼ4遺伝子多型が、ロサルタンまたはロサルタン/ヒドロクロロサイアザイド配合薬の降圧効果に与える影響の検討

谷田部　淳一 (Yatabe, Junichi)[1,3]、谷田部　緑[2,3]、渡辺　毅[3]、眞田　寛啓[1]
[1]JA 福島厚生連ヘルスサイエンスリサーチ、[2] 福島県立医科大学医学部薬理学講座、
[3] 福島県立医科大学医学部腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座

P45-253 降圧配合剤に関するレギュラトリーサイエンスの視点からの一考察

又吉　哲太郎 (Matayoshi, Tetsutaro)、丸山　浩
独立行政法人医薬品医療機器総合機構

P45-254 Losartan/hydrochlorthiazide合剤が２４時間血圧変動に与える影響：地域連携研究“Investigation of Normalized Blood Pressure control with Appropriate medication (INBA) study”中間報告

雪吹　周生 (Ibuki, Chikao)[1]、清野　精彦[1]、水野　杏一[2]、北総　高血圧研究会[1]
[1]日本医科大学 千葉北総病院 循環器内科、[2]日本医科大学 第1内科

P45-255 高血圧患者に対するロサルタン／ヒドロクロロチアジド合剤による積極的降圧療法の有用性と安全性に関する研究

西野　潔 (Nishino, Kiyoshi)[1]、植田　一穂[1]、常松　建夫[2]、吉岡　廣[3]、吉村　耕一[4]
[1]高知赤十字病院 内科（循環器内科）、[2]植田医院、[3]つねまつ内科、[4]吉岡クリニック、[5]吉村神経内科リハビリクリニック

P45-256 インターネットを利用した自験ロサルタン・ヒドロクロロチアジド合剤投与症例の157例の臨床評価

野口　雄一 (Noguchi, Yuichi)[1]、田中　雅彦[2]、大堀　哲也[1]、山本　仁至[1]、波多野　雅子[1]、稲葉　宗通[1]、内田　昌嗣[2]、安村　寛[2]、片山　茂裕[1]
[1]埼玉医科大学 医学部 内科学 内分泌・糖尿病内科、[2]医療法人 関越病院

一般ポスター 46（臨床）P46：薬物療法　ARB・利尿薬併用　2　17:00-17:30

座長：河野　雅和　香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科

P46-257 本態性高血圧症に対するアンジオテンシンII受容体拮抗薬とCa拮抗薬アゼルニジピンあるいは利尿薬の併用療法の有効性と代謝性副作用について

山岸　俊夫 (Yamagishi, Toshio)
東北公済病院内科

P46-258 ロサルタン／ヒドロクロロチアジド合剤の24時間血圧に対する検討

相澤　達 (Aizawa, Toru)[1]、今岡　千栄美[2]、粕谷　健司[2]、勝沼　英太[2]、窪田　隆浩[2]、笹生　正人[2]、徳川　英雄[2]、贄　正基[2]、林　正博[2]、真家　健一[2]、吉川　広[2]、田邉　晃久[1]
[1]東海大学 医学部 内科学系 循環器内科、[2]厚木循環器研究会

P46-259 実地臨床におけるロサルタン・利尿薬合剤の長期有効性と安全性に関する共同研究

北　俊弘 (Kita, Toshihiro)[1]、横田　直人[2]、市来　能成[3]、綾部　隆夫[4]、江藤　琢磨[5]、玉置　昇[6]、加藤　丈司[7]、江藤　胤尚[8]、北村　和雄[1]
[1]宮崎大学 医学部 内科学講座循環体液制御学分野、[2]横田内科、[3]市来内科外科医院、[4]綾部医院、[5]えとう循環器科・内科、[6]たまきクリニック、[7]宮崎大学フロンティア科学実験総合センター、[8]宮崎県健康づくり協会

P46-260 プレミネントの降圧による臓器保護と代謝への影響

清水　一寛 (Shimizu, Kazuhiro)
東邦大学

P46-261 バルサルタン80mgとヒドロクロロチアジド12.5mg併用の効果：常用量ARBで管理不良を示す本態性高血圧患者での前向き単施設観察研究

東條　秀明 (Tojo, Hideaki)、井上　裕紀子、角　俊一郎、古山　正大、安藤　智恵、三好　恵、山之内　良雄、浦田　秀則
福岡大学 筑紫病院 内科第一

P46-262 ロサルタン / ヒドロクロロチアジド(HCTZ)合剤が著効した本態性高血圧症の1例

沼部　敦司 (Numabe, Atsushi)[1]、古堅　聡[1]、赤芝　聖[1]、高橋　利明[1]、中野　信行[1]、大野　絵里[1]、家入　蒼生夫[2]、松岡　博昭[3]、石光　俊彦[1]
[1]獨協医科大学 循環器内科、[2]獨協医科大学 臨床検査医学、[3]宇都宮中央病院

一般ポスター 47（臨床）P47：薬物療法　糖尿病合併　16:30-17:00

座長：佐藤　敦久　国際医療福祉大学 三田病院 内科

P47-263　糖尿病合併高血圧患者の腎機能に及ぼす長時間作用型ニフェジピン製剤とACE阻害薬の影響の比較　- J-MIND研究 / e-GFRを用いた再解析

芳野　原 (Yoshino, Gen)[1]、鹿住　敏[2]、吉川　隆一[3]、J-MIND Study Group[4]
[1] 東邦大学 医学部 内科学 糖尿病代謝内分泌科、[2] 武庫川女子大学 生活環境学部 食物栄養学科、[3] 滋賀県健康福祉部、[4]Japan

P47-264　「糖尿病合併高血圧患者に対する積極的降圧治療による降圧目標達成と代謝機能の変化に関する多施設共同前向き観察研究」DIAMOND Study中間解析結果

山本　仁至 (Yamamoto, Hitoshi)、泉田　太郎、大堀　哲也、波多野　雅子、野口　雄一、稲葉　宗通、粟田　卓也、片山　茂裕
埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科

P47-265　糖尿病を合併した高血圧患者の糖・脂質代謝および腎機能に対するL型およびN型のカルシウムチャネルブロッカーの効果－L型カルシウムチャネルブロッカーとの比較

増田　卓 (Masuda, Takashi)[1]、小倉　彩[1]、山本　壱弥[2]、鈴木　秀俊[2]、清水　良祐[2]、亀川　大輔[2]、饗庭　尚子[2]、田畑　稔[2]、小松　麻美[2]、横山　美佐子[1]、野田　千春[3]、東條　美奈子[1]、和泉　徹[3]
[1] 北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科、[2] 北里大学 大学院 医療系研究科、[3] 北里大学 医学部 循環器内科学

P47-266　高血圧を伴う糖尿病患者に対する高用量ロサルタンとロサルタン/少量ヒドロクロロチアジド併用療法の比較

勝呂　俊昭 (Suguro, Toshiaki)、平野　勉
昭和大学 医学部 糖尿病代謝内分泌内科

P47-267　シルニジピン（L/N-型 カルシウムチャネル拮抗薬：アテレック®錠、シナロング®錠）の糖尿病を合併した高血圧症例に関する特定使用成績調査

永濱　忍 (Nagahama, Shinobu)[1]、岩田　誠之介[1]、渡邉　学[2]、大門　奈津子[2]、北川　英嗣[2]、八橋　利行[2]、金田　周治[3]、徳増　孝樹[3]、石井　信義[3]、中野　泰志[4]
[1] 味の素株式会社 薬事部、[2] 持田製薬株式会社 信頼性保証本部 市販後調査室、[3] ユーシービージャパン株式会社 安全性管理部、[4] キッセイ薬品工業株式会社 医薬情報部 臨床調査課

P47-268　2型糖尿病合併高血圧患者に対するロサルタン50mg+HCTZ12.5mg投与の有効性と安全性の検討

廣井　直樹 (Hiroi, Naoki)、吉原　彩、正井　なつ実、須江　麻里子、伊賀　涼、安藤　恭代、一城　貴政、芳野　原
東邦大学 医学部 内科学講座（大森）糖尿病・代謝・内分泌科